

歯の数と全身の健康

Q3. < 歯科医療充実による総医療費への影響 >

「歯科医療が充実し、口腔の健康が保たれる（残存歯が多い）と総医療費が少なくなる」というデータが数多く存在しているのをご存じですか？

020 運動実績調査結果

—兵庫県歯科医師会と WHO 神戸センターとの共同研究結果から—

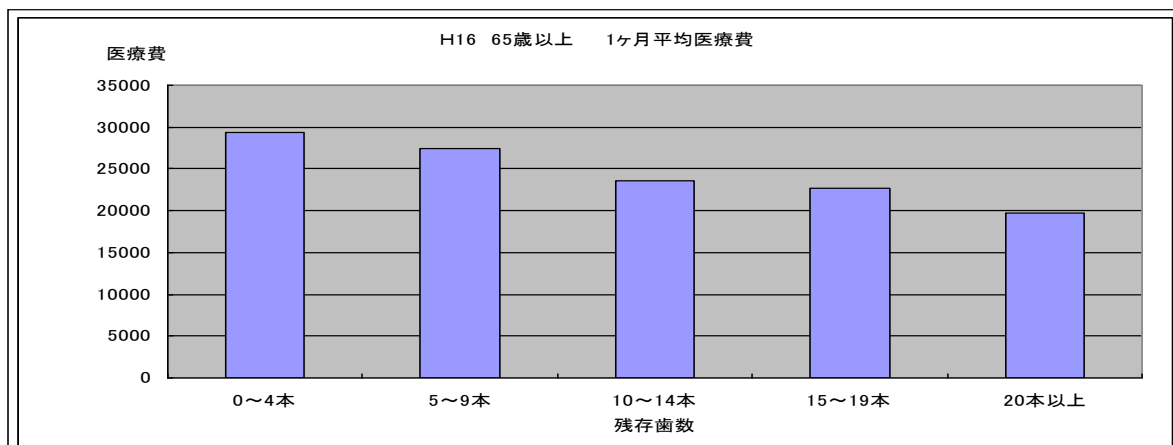
残存歯数と診療費との間には統計的関係が認められた。

年齢と性別による影響を制御した上での共分散分析によって、残存歯数が 0 本の高齢者の診療費は残存歯数が 25 本以上の高齢者の診療費に対して月に 1 万円以上多かった。

兵庫県国民健康保険団体連合会

自分の歯が 20 本以上残っている 70 歳以上のお年寄りには、4 本以下と比べ、身体の病気で費やす医療費が 1 か月、平均約 9000 円も少ないことが、兵庫県国民健康保険団体連合会などの調査で分かった。

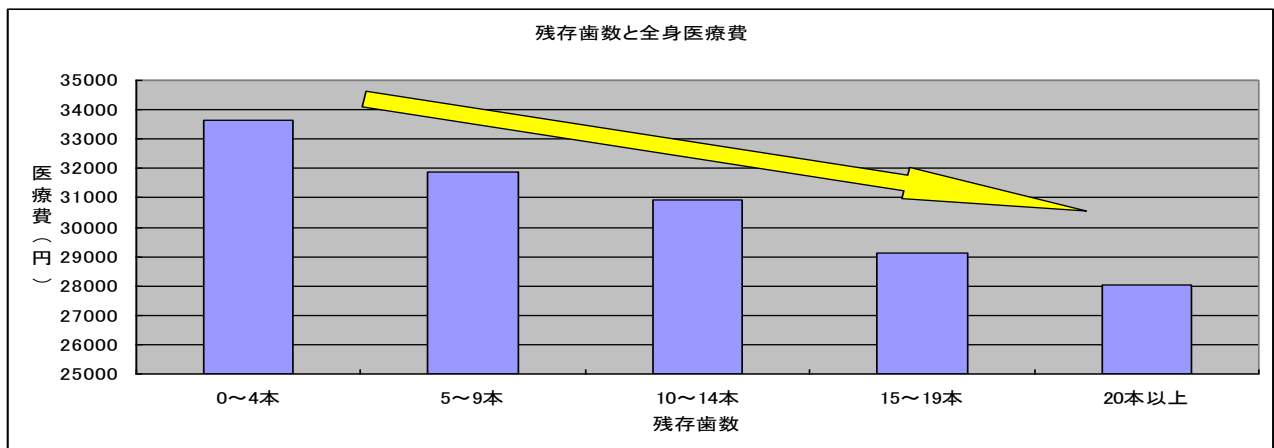
残存歯数が多いほど、神経や循環器などの病気で通院する日数が少なく、歯と身体の健康の密接なかわりが明らかになった。



東北大調査：歯が少ないと医療費高額に

残っている歯が少ないほど 1 か月間の平均医療費（歯科を除く）は高くなることが、50 歳以上の約 3 万人を対象とした渡辺誠・東北大大学院教授（加齢歯科学）らの調査で分かった。

歯が 4 本以下しか残っていない人は、20 本以上の人に比べ約 5600 円も高かった。歯の本数と医療費との関係の大規模な調査は例がなく、渡辺教授は「歯に気を使う人は全身の健康に対する意識も高く、医療費を抑えることにもつながっているのではないか」と分析している。



香川県歯科医師会 高齢者の年間医療費、歯の残り数少ないほど高額

残存歯数が4本以下の高齢者の年間医療費は、20本以上残っている高齢者に比べて平均で約25万円高くなっていることが21日、香川県歯科医師会の調査で分かった。歯周病がある人の医療費はない人よりも平均で約7万8000円高くなっており、歯の健康と全身の健康の密接な関係を裏付けている。

歯周病との関係では、症状が重度になるほど医療費は高く、歯周病のある人（平均52万1000円）は、歯周病のない人（同44万3000円）の約1・2倍。高血圧や糖尿病などの生活習慣病にかかる医療費も、歯周病が重度になるほど高くなる傾向で、歯科予防活動が医療費削減につながる可能性を示唆している。

病気診療費：歯が20本以上残る70歳以上の高齢者、37%少なく

◇ 道国民健康保険団体連合会が調査

20本以上の歯が残る70歳以上の高齢者は、4本以下の人に比べて全身の病気に関係した診療費が37%も少ないことが道国民健康保険団体連合会（札幌市中央区）の調査で分かった。虫歯のない人や歯周病でない人も安く済んでおり、歯は体全体の健康に結びつくことが統計的に立証された。

同会は07年5月の道内の歯科レセプト6万4132件、医科レセプト10万3418件を利用し、患者の歯の状態と診療費を調べた。20本以上の歯を持つ人の割合は30%で、診療費は2万2660円だった一方、4本以下は22%で同3万5930円だった。歯が多いほど診療費が安くなる傾向が明確に表れた。

虫歯のない人は2万6410円、治療済みの人は2万7120円とほぼ同額だが、治療をしていないと3万290円と高くなった。歯周病のない人は2万4170円なのに対し、中程度かかっている人は2万6240円、重度は2万7920円と次第に高くなった。